

■裏声の純化によって目指していく純粋な裏声  
その声の定義について解説します。

実践発声学	純粋な裏声
-------	-------

この項目における学習項目	
純粋な裏声とは	
ピュアファルセットとオーラルファルセット	
外喉頭の動き	
内喉頭の動き	
入りやすい不純物	
この項目の到達目標	到達度確認
裏声に必要な機能が何かわかる	
純粋な裏声の発声時に働く外・内喉頭の働きが理解できる	
純粋な裏声を獲得するための方法について理解できる	
純粋な裏声を目指すにあたり、注意すべき内容がわかる	

◆純粋な裏声とは

- ・純粋な裏声 = 裏声の発声に必要な機能のみで出す裏声
- 必要な機能 = 声帯伸展+声帯粘膜波動(+声帯閉鎖)
- ※裏声発声には声帯伸展と声帯粘膜波動の2つの機能が必要だが、響きを出すために声帯閉鎖も入れる  
ここで言う「純粋な裏声」とは、地声系の働きが入っていない声の事。

◆ピュアファルセットとオーラルファルセット

- ・ピュアファルセット = 上記の純粋な裏声が完成した状態の事。  
裏声発声に不要な筋肉の活動が一切見られない状態  
理論上この状態での発声はB3~B4の1オクターブ内でのみ可能とされている。
- ・オーラルファルセット ピュアファルセットを習得するための発声訓練法、および声種  
息漏れの激しいストレートトーンの「ウ」母音で裏声を発声する  
これにより現在可能な最も純粋な状態の裏声が出るとされる  
※オーラルファルセットでは声帯閉鎖を行わない。その為息漏れを激しくする必要がある

◆外喉頭の働き

- 喉頭の真下への引き下げ + 斜め後上方への引き上げの 2つの働き
- ・引き下げ 主に胸骨甲状筋を使って、喉頭を胸骨に向かって下方に引き下げる
  - ・引き上げ 主に茎突咽頭筋を使って、喉頭を耳の後ろの方に向かって後上方に引き上げる

上記2つの働きによって甲状軟骨が前下方に倒れ、声帯伸展が促進される

◆内喉頭の働き

- 声帯伸展 + 声帯粘膜波動 + 声帯閉鎖の3つの働き
- ・声帯伸展 = 輪状甲状筋 + 後輪状披裂筋により声帯を引き伸ばし緊張させる
  - ・声帯粘膜波動 = 弾性円錐緊張効果によって声帯粘膜の 2層構造を作り、粘膜波動しやすい状態にする
  - ・声帯閉鎖 = 外側輪状披裂筋 + 披裂間筋により声帯を内転させる

上記3つの働きによって、響きのある透き通った綺麗な裏声が完成する

- ※1.本来の純粋な裏声には声帯閉鎖の必要はなく、声帯伸展と粘膜波動のみで発声される  
しかし、声帯閉鎖をかけないと声量が出せず声も伸ばせない  
その為ここでは声帯閉鎖も加えた3つの働きでの声を紹介している。

- ※2.純粋な裏声獲得のための発声方法であるオーラルファルセットでは、声帯閉鎖は行わない  
その為息漏れの激しい小声での裏声発声となる

◆入りやすい不純物

- ・内甲状披裂筋 地声にする筋肉、これを抜くのが純粋な裏声の最難関
- ・その他のノイズ成分 ガラガラとした音色になる働き、音色により2つの動きに分かれる  
エッジボイス=外甲状披裂筋 / ダミ声=仮声帯筋
- ・舌骨上筋群 音程上昇により入る、顎周辺を固めてしまう働き  
これによって内甲状披裂筋が入りやすくなってしまふ